

1 プロジェクト内容

(1) プロジェクト名	変化した瀬戸のまち再発見
(2) プロジェクトの成果 (※そのような成果が得られたかについて具体的に記載)	
<p>本プロジェクトは2021年度から2022年度まで行った「古写真で知る瀬戸の今昔」プロジェクトで得た成果を引き継ぎ、瀬戸の街並みの変化に加え、現在の瀬戸の街の良さについても触れる機会を提供することを目的としている。</p> <p>2023年度は、前身プロジェクトでのデータおよびアプリを元に、ワークショップを開催した。ワークショップは、前身プロジェクトと同じくアプリを用いた謎解きゲーム形式であるが、今回は瀬戸の街中のいくつかの店舗に協力を仰ぎ、参加者がゲーム中に店を訪れることで、新しい発見して促した。アンケート結果から、参加者の満足度も高く、またこれまで知らなかった瀬戸を知ることができたという意見もあり、目的である瀬戸の街並みの変化や街の良さについて知ってもらう機会を提供することができた。</p>	
(3) プロジェクト実施内容 (※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載)	
<p>・定例ミーティング 2023年4月～2024年1月までの間に6回実施 (おおむね月1回) 場所：瀬戸市文化センター (文化課)</p> <p>・謎解きイベント「リアル謎解きウォークラリー 欠けた思い出とせとまるの願い」 日時 11月25日(土) 13時～16時00分 参加人数 17名、6組 瀬戸蔵4階会議室に集合し、アプリとLINEを用いてクイズを解きながら瀬戸市内を巡った。参加者には、景品としてキャラクターせとまるのステッカーや、お菓子を配布した。 PRは、「広報せと」への掲載、セトマチラジオ・ラジオ39「せと・アート情報」にて紹介いただいた。また、市内の小学校等へのチラシの配布を行った。</p>	
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	
<p>ワークショップとしての謎解きイベントは前身プロジェクトを含め3回目となり、1回目からリピートして参加いただいている方もいるなど、参加者アンケートも満足度の高いものであった。一方で、参加者からの満足度は高いものの、参加人数の増加に繋がる広報の仕方や、スタッフの人数が多く必要となるイベント方法など、今後改善していく点も明らかとなった。</p> <p>次年度以降は、それらの改善点を考慮しつつ、より満足度の高いワークショップ等を開催していきたいと考える。</p>	

(注) プロジェクトに関する参考資料がある場合は、A4サイズで添付してください。